

地域防災防犯部会報告概要

(1) 防災予算について

〔部会意見〕

- ・「防災意識の向上」の予算について28年度からかなり下がっているのはなぜか。
- ・主に何に使ってるかを教えて欲しい。金額はどのぐらいか。

〔区の考え方〕

- ・市全体のシーリングが決められており、大変厳しい状況であるが、その中で一律の減額ではなく、注力するところは予算を増やしている。
- ・防災については、蒲生公園の防災拠点化等で、備品等を追加購入する必要があり、それについては28年度予算で一旦終了するので減額している。あわせて、入札落ちを考慮して、できるだけ決算ベースに合わせるような形で見直している。
- ・予算の内訳について、1番大きいのが備蓄物資の購入で約800万円、2番目は各地域で防災リーダー装備品の約200万円となっている。

(2) 中学生参加の防災訓練について

〔部会意見〕

- ・運営方針の中に中学生参加の防災訓練が入っているが、これからずっとするのか。
- ・訓練するにしてもご年配の方が多く、中学生に参加してもらいたい気持ちがあるが、日曜日にも部活動があり困難。良い方策を提案していただきたい。

〔区の考え方〕

- ・平日の昼間に災害が起こった場合に、地域の中で、中学生に頼っていかなければならないと認識しており、中学校と一緒に地域と防災訓練に取り組んでまいりたい。
- ・中学校は、複数の小学校区があることから、地域の行事や、小学校区との距離の問題等により、困難な面がある。
- ・地域では夜間の避難訓練や日曜参観の時に実施するなど、色々な方法で工夫していただいて実施している。
- ・大阪市教育委員会も、中学校の防災訓練等については、各学校長に地域と協力をして実施するようにと、話をしていると聞いている。区役所としても、校長会等を通じて地域の声も聞いていただき、土曜授業を使った中学校での防災訓練ができないかということについても、声掛けをしてまいりたい。

(3) 災害時における水の確保について

〔部会意見〕

- ・災害時は水が不足する。そういった面で、200万円ぐらいの工事費で、井戸を掘ったら水が出ると聞いている。公園か、学校に1つ掘ってはどうか。
- ・ぜひとも水を確保できるように、頭の中に入れていただきたい。

〔区の考え方〕

- ・大阪府下では、「災害時協力井戸」として井戸がある家庭については、届出により災害時の水の確保のための井戸ということで登録される制度があるが、残念ながら大阪市内は対象外。
- ・掘る費用の一方で維持管理に要する費用もかさんでくるので、一度勉強してみたい。
- ・災害時には、マンホールトイレに流す水や生活用水、消火用の水、飲料水等、色々な水が必要になるので、そのための対策が取られている。各家庭では、1人1日3リットルで最低でも3日分の水の確保をお願いしたい。

※その他の部会意見

- ・大雨による浸水対策について、運営方針の方向性など